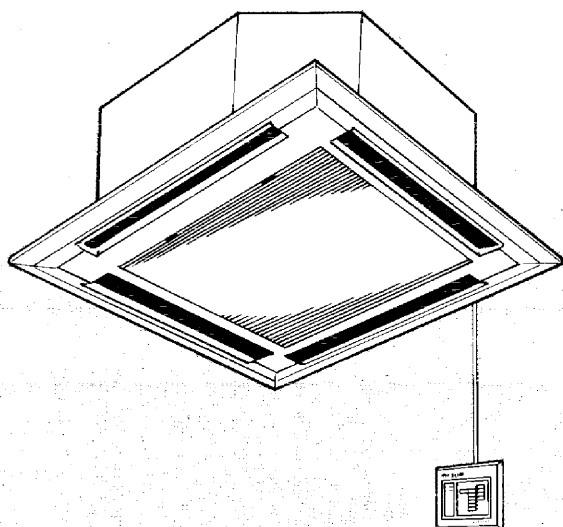
MITSUBISHI Mr.SLIM

三菱電機スリム エアコン カセット形4方向吹出し

PLH-35SFKH	PLH-45FK(H)	PLH-71FK(H)	PLH-125FK(H)
PLH-35FK(H)	PLH-50SFKH	PLH-80FK(H)	PLH-140FK(H)
PLH-40SFKH	PLH-50FK(H)	PLH-90FK(H)	PLHX-100FK(H)
PLH-40FK(H)	PLH-56FK(H)	PLH-100FK(H)	PLHX-125FK(H)
PLH-45SFKH	PLH-63FK(H)	PLH-112FK(H)	PLHX-140FK(H)

取扱説明書

もくじ　ページ

上手に使って上手に節電

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後は保証書などと共にたいせつに保管してください。
万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

1. 各部の名称とはたらき

●室内ユニット(本体)

ロングライフフィルター
吸い込んだ空気のホコリやゴミを取り除きます。
エアフィルターはロングライフフィルターとなっていますので通常冷房・暖房のシーズン始めなどに清掃してください。(特にほこりの多い場合はさらに多く清掃してください。)

水平吹出
冷房およびエレクトロニクスドライの時は自動的に水平吹出にセットされます。

化粧パネル

下吹出
暖房時は自動的に下吹出にセットされます。

オートベーン
風を上下に拡散したり風向角度を調節します。
(詳しくは8ページを参照ください。)

リモコン

スライドシャッタ
吹出口面積を変えて風量、風速を調整できます。
(詳しくは8ページを参照ください。)

吸込口
お部屋の空気を吸い込みます。

●室外ユニット

吹出口
吸込口

PUH-35(S)EK
PUH-40(S)EK
PUH-45(S)EK9
PUH-50(S)EK

吹出口
吸込口

PUH-56EK
PUH-63EK
PUH-71EK

吹出口
吸込口

PUH-80EK
PUH-90EK
PUH-100EK
PUHX-100EK

吹出口
吸込口

PUH-112EK PUHX-125EK
PUH-125EK PUHX-140EK
PUH-140EK

●リモコン

●操作は一度セットすると、その後は 運転/停止 ボタンの操作だけで、繰り返しご使用になれます。

●風速調節、上下風向調節は集中管理リモコン（別売）併用時でも操作できます。

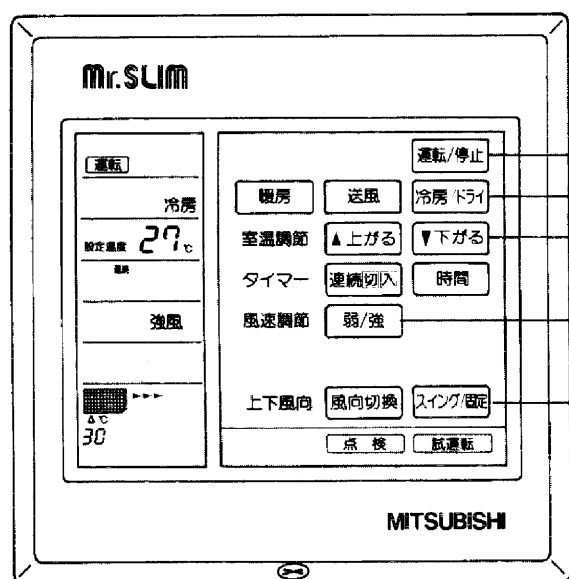
ご　注　意

- ●ユニット停止時は液晶表示部はすべて消えます。
- ●操作部のボタンを押しますと"ピッ"と音がし操作が確実に行なわれた事をお知らせします。
- ●操作部は爪等の先のとがったもので操作しないでください。
  操作パネルの傷付の原因となります。
- ●「集中管理中」と表示が一瞬でて消える場合がありますが、これは故障ではありません。

2. ご使用方法と運転内容 冷房運転

●冷房運転のしかた

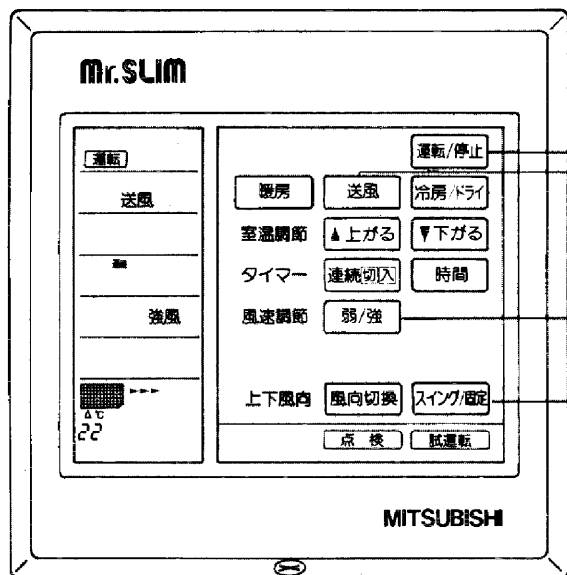
●操作は一度セットするだけで、その後は 運転/停止 ボタンの操作だけで繰り返しご使用になれます。
ご使用になる前に元電源が入っていることをお確かめください。
（エアコン使用期間中はエアコンの元電源を切らないでください。）

● 冷房/ドライ ボタンは１回押すごとに“冷房”・“エレクトロニクスドライ”が切り換わります。運転内容は表示部で確認してください。

上図表示部の数値や図形は“冷房運転時”の表示例を示します。

室温調節のしかたは7ページを参照ください。

・風向調節のしかたは8ページを参照ください。
・上下風向は通常水平吹出に自動的にセットされます。

停止 運転/停止 ボタンを押す

いったん運転を停止し、すぐに運転ボタンを押しても機械を保護するため、約３分間は運転しません。約３分経過後自動的に運転を再開します。

送風運転

●送風運転のしかた

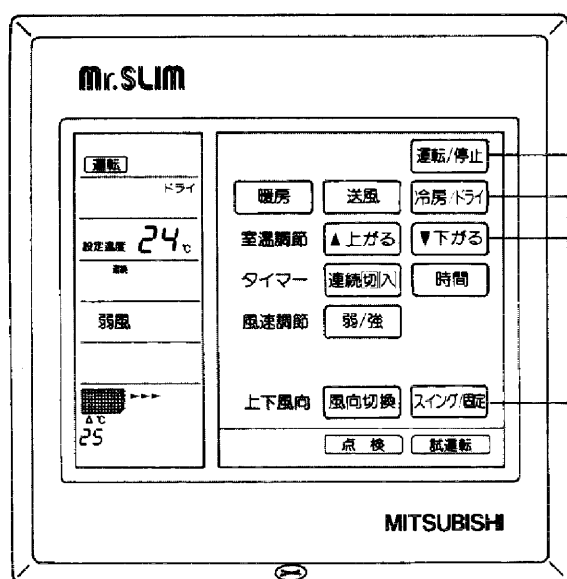
●操作は一度セットするだけで、その後は 運転/停止 ボタンの操作だけで繰り返しご使用になれます。
送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。
ご使用になる前に元電源が入っていることをお確かめください。

風向調節のしかたは8ページを参照ください。

上図表示部の数値や図形は"送風運転時"の表示例を示します。

（注意） 送風運転では、室内温度の設定はできません。

●エレクトロニクスドライ運転のしかた

- 操作は一度セットするだけで、その後は 運転/停止 ボタンの操作だけで繰り返しご使用になれます。
  ご使用になる前に元電源が入っていることをお確かめください。
  （エアコン使用期間中はエアコンの元電源を切らないでください。）
- 室温が18℃以下ですとエレクトロニクスドライ運転はできません。
- 室内ファンは弱風運転となり、風速の切換はできません（リモコンの表示のみ変わります）。
- 冷房/ドライ ボタンは1回押すごとに“冷房”・“エレクトロニクスドライ”が切り換わります。運転内容は表示部で確認してください。

上図表示部の数値や図形は“エレクトロニクスドライ運転時”の表示例を示します。

室温調節のしかたは7ページを参照ください。

・風向調節のしかたは8ページを参照ください。
・上下風向は通常水平吹出に自動的にセットされます。

停止 運転/停止 ボタンを押す

いったん運転を停止し、すぐに運転ボタンを押しても機械を保護するため、約3分間は運転しません。約3分経過後自動的に運転を再開します。

■エレクトロニクスドライ運転について

エレクトロニクスドライ運転はマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷しすぎを抑えた除湿運転を行ないます（暖房には使用できません）。

●エレクトロニクスドライ運転のしくみ

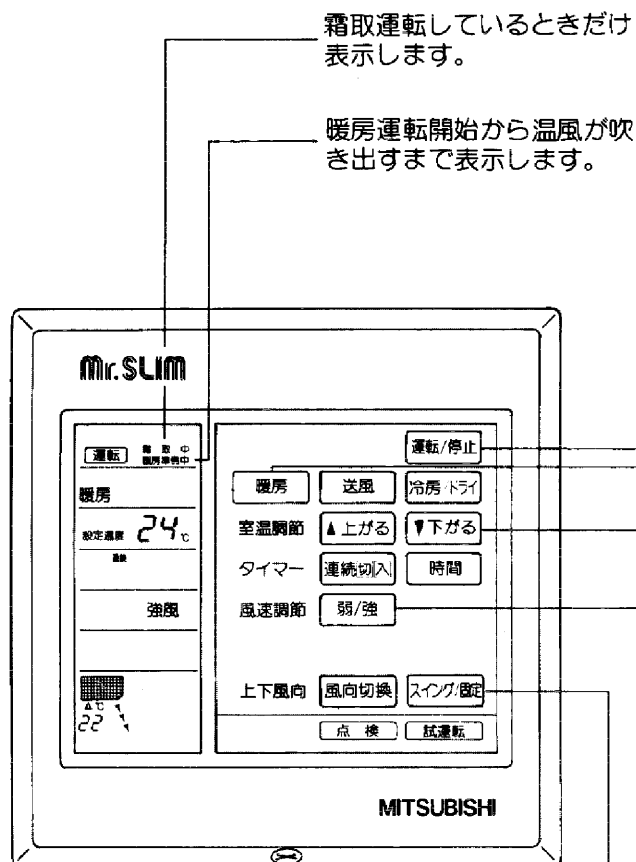
1．お好みの室温になるまで
- **室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。**

2．お好みの室温になると
- **圧縮機・室内ファンとも停止します。**
- **10分間停止が続くと湿度を低く保ため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。**

●暖房運転のしかた

操作は一度セットすると、その後は[運転/停止]ボタンの操作だけで繰り返しご使用になれます。
ご使用になる前に元電源が入っていることをお確めください。
(暖房使用期間中エアコンの元電源を切らないでください。)

室温調節のしかたは7ページを参照ください。

・風向調節のしかたは8ページを参照ください。
・上下風向は通常下吹出に自動的にセットされます。

上図の表示部の数値や図形は"暖房運転時"の表示例を示します。

停止 [運転/停止]ボタンを押す

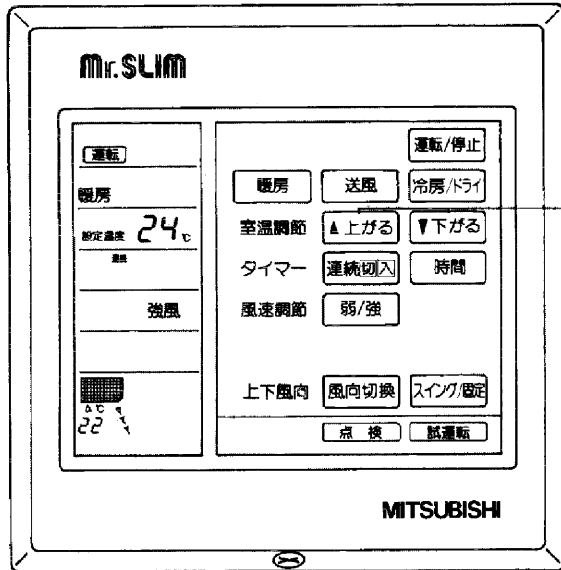
いったん運転を停止し、すぐに運転ボタンを押しても機械を保護するため、約3分間は運転しません。約3分経過後自動的に運転を再開します。

こんなときはマイコンが操作しています。

暖房開始時に風がでない
冷風を出さないよう、室内ファンは吹出空気の温度上昇にあわせて、停止から微風・弱風・設定風量と徐々に切り換わります。少しお待ちいただければ自然に風が出てきます。
風速が設定どおりでない
お部屋の温度が設定温度に達して、圧縮機が停止しているときは微風となり風量が極端に小さくなります。また霜取運転中は冷風がでないようにするため停止となります。
運転を停止しても風がでる
運転停止後約1分間電気ヒータ等の余熱排除のため室内ファンがまわることがあります。風速は弱風となります。

ご使用方法と運転内容 室温調節のしかた

室温を変えたいときは

設定温度の変更は表示部を見ながら室温調節ボタンを押します。

室温調節ボタンを押して お好みの室温にセット

[▲上がる] を一度押すと設定が1℃上がります。その後連続して押し続けますと、0.5秒毎に1℃ずつ連続して上がります。

[▼下がる] を一度押すと設定が1℃下がります。その後連続して押し続けますと、0.5秒毎に1℃ずつ連続して下がります。

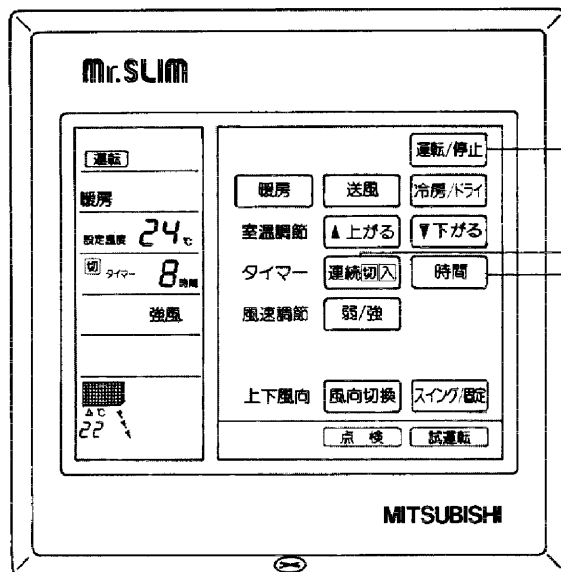
設定温度範囲

冷　房	19～30℃
暖　房	17～28℃
エレクトロニクスドライ	19～30℃

温度表示例

設定温度 24℃

ご使用方法と運転内容 タイマーの使いかた

タイマーセットのしかた

1 [運転/停止] ボタンを押す

2 タイマー切換ボタンを押し [切]タイマーか[入]タイマーにセット

3 タイマー時間のセットをする

- 一度押すと１時間アップし、その後連続して押し続けますと0.5秒毎に１時間ずつアップします。設定最長時間は24時間です。
- [切]・[入]タイマーモードに設定されている場合、残り時間があっても、リモコンの[運転/停止]ボタンを押せば運転([入]タイマー)あるいは停止([切]タイマー)させることができます。
- [切]・[入]タイマーの設定時間はそれぞれ前回セットされた時間を独立にメモリーしていますので、再度タイマー運転する場合は、前回の設定時間が自動的にセットされます。

タイマー設定表示例

[切] タイマー 8 時間

例は８時間後に運転停止する[切]タイマーを表わします。時間表示は１時間経過する毎に１時間ずつ少なくなり残り時間を表示します。

解除 [運転/停止] ボタンを押す

[入]タイマーモードに設定されている場合…運転を開始します。
[切]タイマーモードに設定されている場合…運転を停止します。

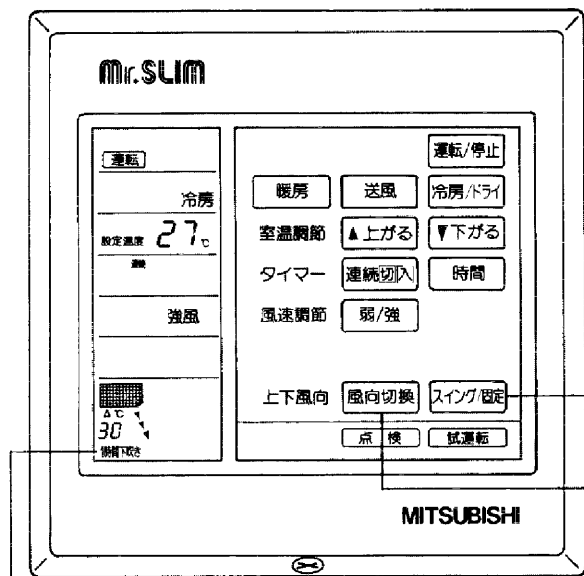
タイマーのはたらき

[切]タイマー

おやすみまえなどにお使いください。セットした時間が経過するとエアコンの運転を停止します。

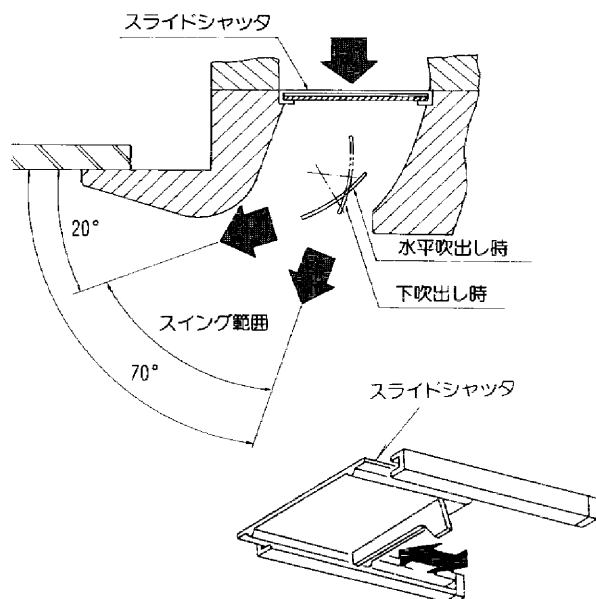
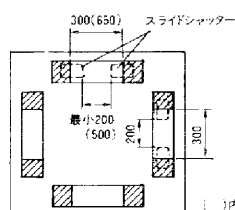
[入]タイマー

おめざめどきなどにあわせてセットします。セットした時間が経過するとエアコンの運転を始めます。

風向調節のしかた

冷房および、エレクトロニクスドライ運転で弱風下吹出にセットしたとき表示されます。１時間が経過すると自動的に水平吹き出しにもどり表示が消えます。

スライドシャッタでの調節のしかた

●吹出口内部にあるスライドシャッタを移動することにより吹出口面積を変えて風量、風速を自由に調節できます。

［化粧パネル据付時、吹出口の選択によりスライドシャッタは取付けてない場合もあります。］

スライドシャッタは次の範囲で調節してください。

推奨吹出し口巾

	吹出し口巾の合計(mm)
PLH-35～80形、X100～X140形	800～1300
PLH-90～140形	1400～2200

※必ず最小幅以上は開口して下さい。最小幅以下での御使用は故障の原因となります。

リモコンにより上下風向調節しない場合		
冷房/ドライ時は	水平吹出	約20°
暖房時は	下吹出	約70°
		になります。

上下の風向調節

リモコンによりオートベーンを動かして風向きを変えることができます。

1 ［スイング/固定］ボタンを押すとオートベーンはスイング↔固定となります。

●スイングに設定すると、オートベーンがスイング範囲内を往復し、風を上下に拡散します。
●固定にすると、オートベーンはスイング作動前にセットされていた位置になります。ただし固定設定中に冷房、ドライ、暖房を切り換えた場合は、冷房およびエレクトロニクスドライ時、水平吹出約20°暖房時、下吹出し約70°にセットされます。

スイング作動時のリモコン表示内容

矢印が移動し、オートベーンがスイングしていることを表示します。
※リモコンの矢印表示と実際のオートベーンの位置は同調しません。

2 ［風向切換］ボタンを押すごとに風向が変わります。

※スイング設定時は［風向切換］ボタンは効きません。

●冷房強風時・暖房時・送風時は①→②→③→④の順に変わります。
●冷房強風時、下吹きセット②のまま冷房弱風に風速調節すると、自動的に水平吹出①に変わります。
●冷房弱風時およびエレクトロニクスドライ運転は上記の液晶表示の風向①→③→④の順に変わります。

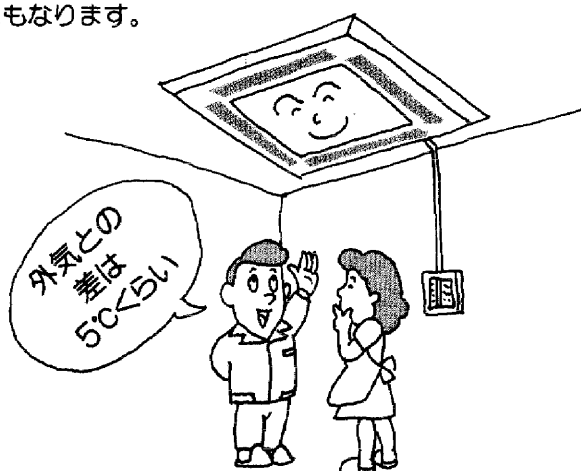
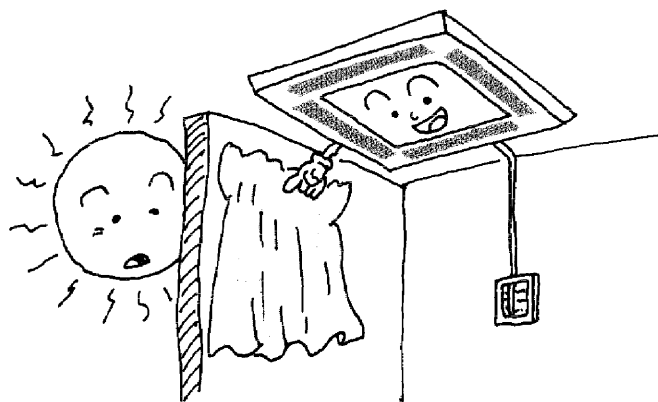
冷房弱風時および、エレクトロニクスドライ運転の下吹きセット③④はセット後１時間が経過しますと自動的に水平吹出①にもどります。

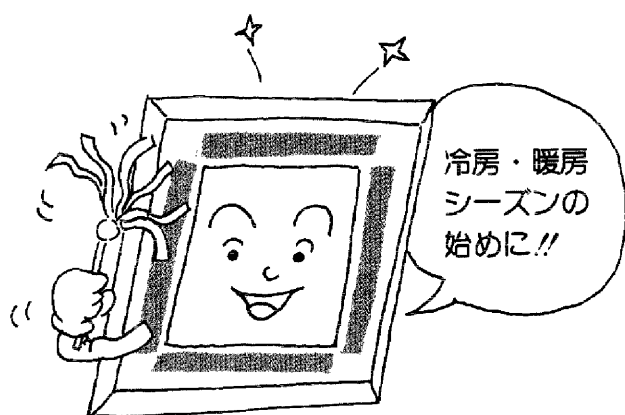
（露付・露タレの原因となりますので繰返しのご使用はやめてください。）

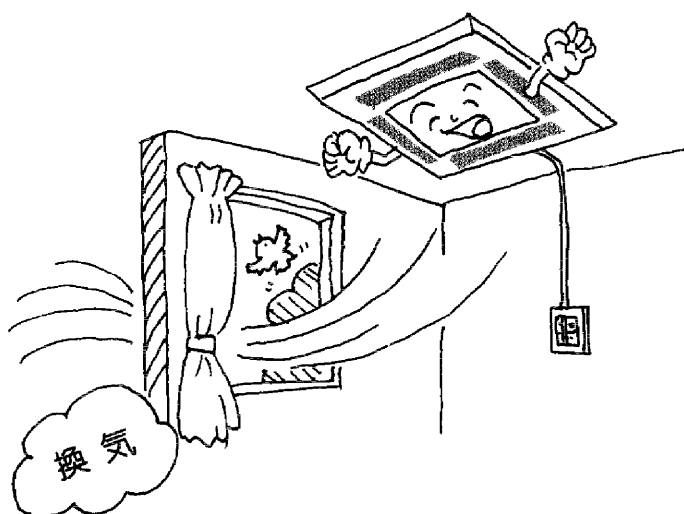
3. 上手なご使用のしかた

ほんのわずかな心がけで、冷房暖房効果、電気代などの点で一層効果的に使うことができます。

室内温度は適温に

- 冷房運転では、室内と室外の温度差は約5℃以内が適温です。
- 室温を1℃上げると約10%の電力が節約できます。(冷房運転時)
- 冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。

冷房時熱の侵入を少なく

- 冷房時、直射日光の当たる窓にはカーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
又、出入口は必要なとき以外は開けないようにしてください。

フィルターの清掃

- フィルターの目づまりは風の流れを少なくし、冷房・暖房効果を弱めます。さらに、そのまま放置しますと故障の原因になります。通常・冷房・暖房シーズンの始めに清掃してください。(特にほこりの多い場合はさらに多く清掃してください。)

ときどき換気を

- 長時間閉め切った部屋では空気が汚れますので時々換気が必要です。ガス器具といっしょに使う場合は、特にご注意ください。当社製〝ロスナイ〟換気扇を利用しますとムダのない換気ができます。詳しくは販売店にご相談ください。

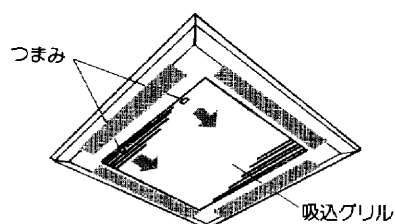
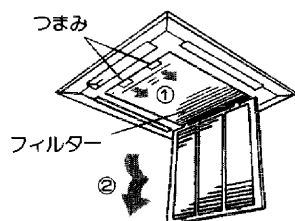
4. お手入れのしかた

お手入れの前には、必ず、元電源を「切」にしてください。

フィルター

エアフィルターはロングライフフィルターとなっておりますので、通常冷房・暖房のシーズン始めなどに清掃してください。(特にほこりの多い場合はさらに多く清掃してください。)

フィルターの脱着

- 吸込グリルのつまみを矢印の方向へ引くと吸込グリルが開きます。

- フィルターの
つまみを矢印①の方向に引くとフィルターが外れますので矢印②の方向に引き抜いてください。

清掃のしかた

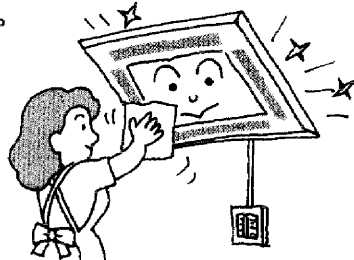
- 軽くはたくか電気掃除機で清掃してください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をとかしたぬるま湯か水ですすぎ洗いし、その後洗剤をよく洗い落としてください。洗った後は乾燥させてから元どおりに取り付けてください。

ご　注　意

- フィルターを直射日光に当てたり火にあぶって乾かさないでください。変形することがあります。
- 熱い湯(50℃以上)で洗うと変形することがあります。

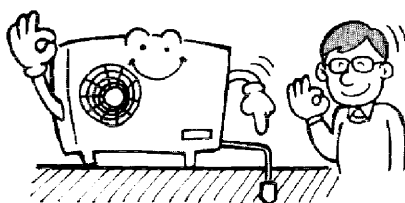
本　体

清掃のしかた

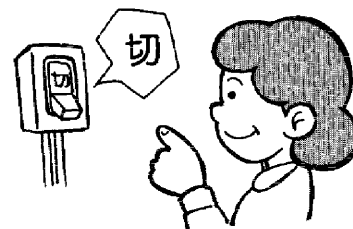
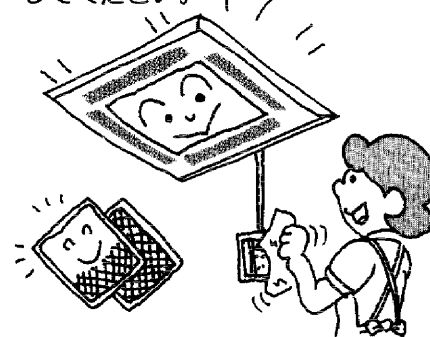
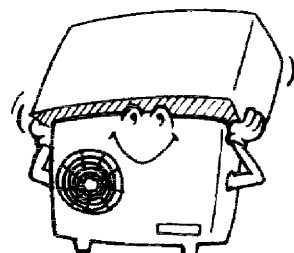
- やわらかい布でからぶきしてください。

- 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤(食器用または洗たく用)を使用してください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・洗剤などは製品をいためますので、絶体使用しないでください。

シーズン前

- 室内ユニット・室外ユニットとも吹出口や吸込口をふさいでいないか確かめてください。
- 室外ユニットの保護カバーを必ずはずしてください。

- アース線がはずれていないか確認してください。

- ドレンホースの折れ曲り、先端の持ち上り、つまりなどを確めてください。
- フィルターを必ず入れてから運転してください。(はずしたままで運転しますと機械が汚れ故障の原因となります。)
- **運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの元電源を"入"にしておいてください。**

シーズン後

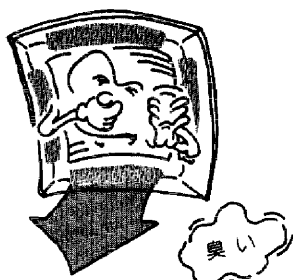
- エアコンの元電源を切ってください。

- フィルターおよび各部のお手入れをしてください。

- 室外ユニットにごみやほこりが入らないようにビニール等でカバーをしてください。

5. サービスをお申しつけの前に

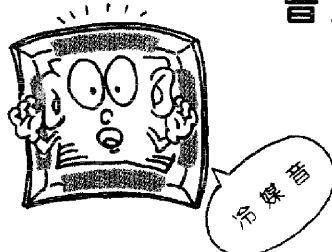
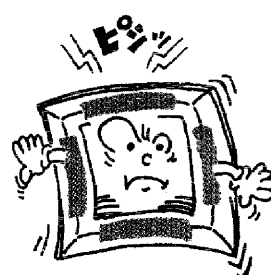
サービスをお申しつけの前に、次の点をお調べください。

機械の状態	リモコン	原因	処置
運転しない	運転/停止ボタンを押しても"ピッ"と音が出ず、表示も現れない。	停電	停電解除後運転/停止ボタンを押す
		元電源が入っていない	元電源を入れる
		元電源のヒューズが切れている	ヒューズの交換
		漏電ブレーカがきれている	漏電ブレーカを入れる
風が出るがよく冷えない または よく暖まらない	液晶表示は、運転状態の表示	温度調節が適正でない	液晶表示の設定温度と吸込温度を確認の上、7ページ「室温調節のしかた」を参照して室温調節ボタンを操作する
		フィルターにホコリやゴミがつまっている	フィルターを清掃してください。10ページ「フィルターの清掃のしかた」を参照
		室内ユニット、室外ユニットの吹出口、吸込口に障害がある	取りのぞく
		窓、ドアが開いている	閉じる
冷風あるいは温風がでない。	液晶表示は、運転状態の表示	3分間再起動防止回路が作動している	圧縮機保護のため、3分再起動防止回路が室外ユニットに内蔵されていますので、圧縮機がすぐ運転しない場合があります。しばらくお待ちください。最長3分間は運転しない場合があります。
運転してもすぐ停止する	液晶表示に"P6"あるいは"P8"が表われる	室内ユニット、室外ユニットの吹出口、吸込口に障害物がある	取りのぞいてから再運転する
		フィルターにホコリやゴミがつまっている	フィルターを掃除してから再運転する10ページ「フィルターの清掃のしかた」を参照

以上のことをお調べになっても、なお不具合の時は、エアコンの元電源を切り、お買上げ販売店に製品名、不具合の状況を連絡して下さい。また、リモコン液晶表示部に"点検"と"P1～P8、U9、E0"と表示が表われたときは、その表示内容P1～P8、U9、E0を連絡してください。なおご自分での修理は、絶対にしないでください。

次の場合は故障ではありません

ニオイがする

エアコンから吹き出す風がにおうことがあります。これはお部屋の空気中に含まれた煙草のけむり、化粧品、壁や家具などのにおいがエアコンに付着し吹き出されるためです。

音がする

運転中や停止時に、「シュルシュル」などと音がすることがあります。これはエアコン内部の冷媒が流れる音です。

冷・暖房運転の開始後と停止したのちに、「ピシッ」と音がすることがあります。温度変化でパネルなどが膨張・収縮してこすれる音ですので、問題はありません。

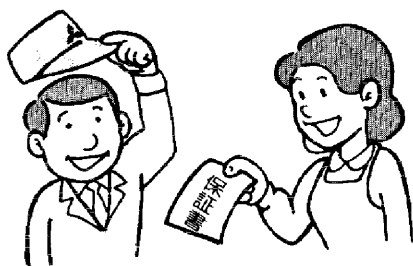
6. アフターサービスと保証

修理を依頼されるときは

万一異常がありましたら、ただちに運転を停止し、エアコンの元電源を「切」にしてお買上げの販売店にサービスをお申しつけください。

ご連絡の場合は、つぎの４点をハッキリお示しください。

1．製品の形名は
2．製品番号は　　保証書に記入してあります。
3．お買上げ年・月は
4．故障内容（できるだけくわしく）

サービスマンがお伺いした折には必ず保証書をお示し願います。

保証書・保証期間について

1 この商品には無料修理保証書を別途添付しております。保証書は販売店で発行しますから、所定事項の記入の有無及び記載内容をご確認いただき大切に保存してください。

2 無料修理保証期間はお買上げの日より１年間です。無料修理保証書の記載内容によりお買上げ販売店が修理致します。その他詳細は無料修理保証書をご覧ください。

3 無料修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。メーカーは販売店からの注文により補修用性能部品を販売店に供給致します。
エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後９年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
なお、無料修理などアフターサービスについてご不明の場合はお買上げの販売店か最寄りの三菱電機サービスセンター又は菱電サービスにご相談ください。

7. 工事・移設・点検について

据付場所について

■可燃性ガスの漏れるおそれのある所はさけてください。

■
- 機械油の多い所
- 海浜地区等塩分の多い所
- 湿気の多い場所
- 温泉地帯
- 硫化ガスのある所
- 高周波加工機（高周波ウェルダー等）のある所

など、エアコンの周囲ふんい気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。ご使用はさけてください。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

騒音にもご配慮を

⑴据付にあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。

⑵エアコンの室外吹出口からの温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

⑶エアコンの室外吹出口の近くに物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。

⑷エアコンをご使用中異常音がする場合などは、お買上げの販売店にご相談ください。

移設について

■増改築・引越しのためエアコンを取りはずしたり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますのであらかじめ販売店にご相談ください。

電気工事について

■電源は、エアコン専用の回路を設けてください。

■他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカやヒューズが切れることがあります。

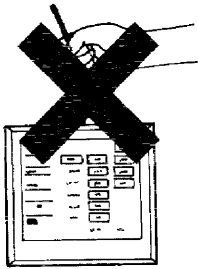
■万一の感電防止のため、アースを取りつけてください。くわしくは、お買上げの販売店にご相談ください。

■据付場所によっては、漏電ブレーカの取付が義務付けられています。くわしくは、お買上げの販売店にご相談ください。

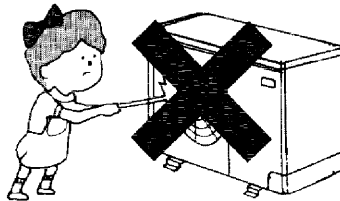
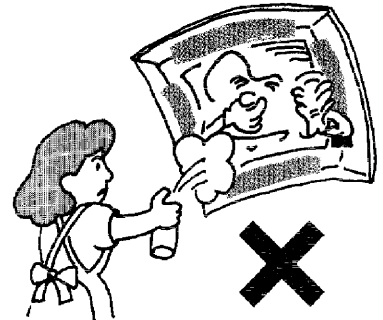
保守点検

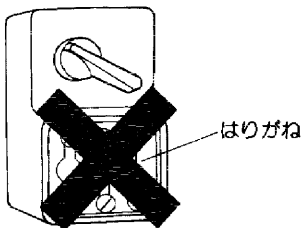
■エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ性能が低下することがあります。ご使用状態によっては、においが発生したり、ゴミ・ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をお勧めします。

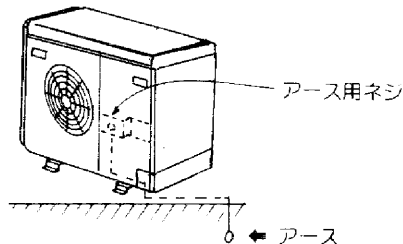
8. とくに注意していただきたいこと

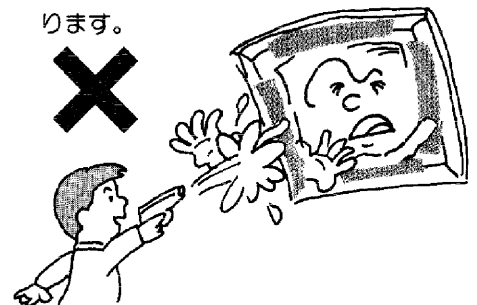
リモコンコードを強く引っぱらないでください。

故障の原因となります。

吸込口や吹出口に棒など異物を差し込まないでください。

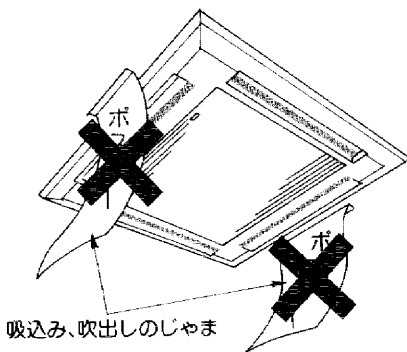
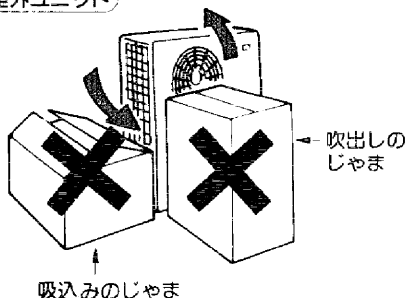
回転する送風機や電気部品にふれると危険です。とくにお子様にご注意ください。

殺虫剤や可燃性スプレーを吹きつけないでください。

定格電圧・ヒューズ・ブレーカ容量を必ず守ってください。

ヒューズの代わりに針金などを使うことは絶対に行わないでください。故障や火災の原因になります。

エアコンのアースは必ず取り付けてください。

エアコンのアース端子から確実にアースが接続されていることを確認ください。

エアコン本体には水をかけないでください。

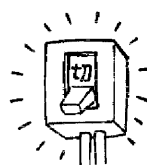
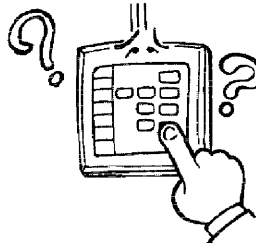
水がかかると、故障や感電のおそれがあります。

室内、室外ユニットの吸込口や吹出口をふさがないでください。

能力が低下したり、故障の原因となります。

（室内ユニット）

（室外ユニット）

停電後の再運転

停電などで運転が停止すると「停電時再起動防止回路」が働き停電が解除されても運転しません。そのときは、再びリモコンの 運転/停止 ボタンを押して運転を開始してください。

つぎのような場合には運転を停止しお買上げの販売店にご相談ください。

ブレーカがたびたび作動するとき

リモコンの作動が不確実なとき

・リモコンの点検表示が時々点滅する時。
・その他いつもと違う状態のとき。

長期間停止のとき

長期間運転を停止するとき、エアコンの元電源を「切」にしておいてください。本体に組込んであるトランスや圧縮機保護用のクランクケースヒータ等により数十ワットの電力が消費されていますのでシーズンオフなど長期間運転を停止するときは元電源を「切」にしておいてください。

長期間停止から運転を再開のとき

長期間運転停止後、運転を再開するときは、エアコンの始動を円滑にするため運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの元電源を"入"にしておいてください。

12時間

9. 仕　様

ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

50/60Hz

セット形名		PLH-35SFK	PLH-35FK	PLH-40SFK	PLH-40FK	PLH-45SFK	PLH-45FK	PLH-50SFK	PLH-50FK
	ヒーター付	PLH-35SFKH	PLH-35FKH	PLH-40SFKH	PLH-40FKH	PLH-45SFKH	PLH-45FKH	PLH-50SFKH	PLH-50FKH
性能	冷房能力 kcal/h	3150/3550		3550/4000		4000/4500		4500/5000	
	暖房能力 kcal/h	3750(4954)/4250(5454)				4300(5676)/5000(6376)		4800(6176)/5500(6876)	
室内ユニット形名		PLH-35(S)FK(H)	PLH-35FK(H)	PLH-40(S)FK(H)	PLH-40FK(H)	PLH-45(S)FK(H)	PLH-45FK(H)	PLH-50(S)FK(H)	PLH-50FK(H)
室内ユニット	電源	単相 200V	単相(3相)200V	単相 200V	単相(3相)200V	単相 200V	単相(3相)200V	単相 200V	単相(3相)200V
	騒音 強―弱dB(A)	38-32				40-33			
	風量 強―弱m³/min	14-11				16-12			
	補助ヒータ kW	(1.4)				(1.6)			
	外形寸法(高さ×巾×奥行)mm	258×820×820							
	質量kg(本体+化粧パネル)	26(27)+10							
化粧パネル形名		PLP-080FW							
室外ユニット形名		PUH-35SEK	PUH-35EK	PUH-40SEK	PUH-40EK	PUH-45SEK9	PUH-45EK9	PUH-50SEK	PUH-50EK
室外ユニット	電源	単相 200V	3相 200V	単相 200V	3相 200V	単相 200V	3相 200V	単相 200V	3相 200V
	騒音 dB(A)	49/50							
	風量 m³/min	45							
	外形寸法(高さ×巾×奥行)mm	650×870×(295+30)							
	質量 kg	46				52		59	

※(　)内の数値は、ヒーターレスの場合は別売補助ヒーター、ヒーター付の場合は組込みの補助ヒーターの作動時を示します。
電気特性は製品に貼付してあります製品名板に記入してあります。

50/60Hz

セット形名		PLH-56FK	PLH-63FK	PLH-71FK	PLH-80FK	PLH-90FK	PLH-100FK	PLH-112FK	PLH-125FK	PLH-140FK
	ヒーター付	PLH-56FKH	PLH-63FKH	PLH-71FKH	PLH-80FKH	PLH-90FKH	PLH-100FKH	PLH-112FKH	PLH-125FKH	PLH-140FKH
性能	冷房能力 kcal/h	5000/5600	5600/6300	6300/7100	7100/8000	8000/9000	9000/10000	10000/11200	11200/12500	12500/14000
	暖房能力 kcal/h	5900/6700 (7706)/(8506)		6500/7700 (8306/9506)	7600/9000 (9406/10806)	9300/10600 (11536/12836)		12200/13800 (14780/16380)		13500/15200 (16080/17780)
室内ユニット形名		PLH-56FK(H)	PLH-63FK(H)	PLH-71FK(H)	PLH-80FK(H)	PLH-90FK(H)	PLH-100FK(H)	PLH-112FK(H)	PLH-125FK(H)	PLH-140FK(H)
室内ユニット	電源	単相(3相)200V								
	騒音 強―弱dB(A)	43-35			48-39	46-38				48-39
	風量 強―弱m³/min	18-13			22-16	33-24				35-25
	補助ヒータ kW	(2.1)				(2.6)		(3.0)		
	外形寸法(高さ×巾×奥行)mm	258×820×820				258×1340×820				
	質量kg(本体+化粧パネル)	29(30)+10				45(47)+16				
化粧パネル形名		PLP-080FW				PLP-140FW				
室外ユニット形名		PUH-56EK	PUH-63EK	PUH-71EK	PUH-80EK	PUH-90EK	PUH-100EK	PUH-112EK	PUH-125EK	PUH-140EK
室外ユニット	電源	3相200V								
	騒音 dB(A)	52/53			53/54	54/55		55/56		55/56
	風量 m³/min	50			95					100
	外形寸法(高さ×巾×奥行)mm	850×870×(295+30)			1258×870×(295+30)			1258×970×(345+30)		
	質量 kg	63		70	81	94		114		117

※(　)内の数値は、ヒーターレスの場合は別売補助ヒーター、ヒーター付の場合は組込みの補助ヒーターの作動時を示します。
電気特性は製品に貼付してあります製品名板に記入してあります。

仕　様

50/60Hz

セット形名	ヒーターレス	PLHX-100FK		PLHX-125FK		PLHX-140FK	
	ヒーター付	PLHX-100FKH		PLHX-125FKH		PLHX-140FKH	
性能	冷房能力 kcal/h	9000/10000		11200/12500		12500/14000	
	暖房能力 kcal/h	9300/10600(12052/13352)		12200/13800(15812/17412)		13500/15200(17112/18812)	
室内ユニット形名		PLHX-50FK(H)1	PLHX-50FK(H)2	PLHX-63FK(H)1	PLHX-63FK(H)2	PLHX-71FK(H)1	PLHX-71FK(H)2
室内ユニット	電源	単相(3相)200V					
	騒音 強一弱dB(A)	40-33	40-33	43-35	43-35	43-35	43-35
	風量 強一弱m³/min	16-12	16-12	18-13	18-13	18-13	18-13
	補助ヒータ kW	(1.6)	(1.6)	(2.1)	(2.1)	(2.1)	(2.1)
	外形寸法(高さ×巾×奥行)mm	258×820×820	258×820×820	258×820×820	258×820×820	258×820×820	258×820×820
	質量kg(本体+化粧パネル)	26(27)+10	26(27)+10	29(30)+10	29(30)+10	29(30)+10	29(30)+10
化粧パネル形名		PLP-080FW					
室外ユニット形名		PUHX-100EK		PUHX-125EK		PUHX-140EK	
室外ユニット	電源	3相200V					
	騒音 dB(A)	54/55		55/56			
	風量 m³/min	95		95		100	
	外形寸法(高さ×巾×奥行)mm	1258×870×(295+30)		1258×970×(345+30)			
	質量 kg	94		114		117	

※(　)内の数値は、ヒーターレスの場合は別売補助ヒーター、ヒーター付の場合は組込みの補助ヒーターの作動時を示します。
電気特性は製品に貼付してあります製品名板に記入してあります。